

公務災害について

上北教育事務所

- 1 公務災害補償制度について**
- 2 通勤災害の認定について**
- 3 公務災害・通勤災害認定事例について**
- 4 公務災害の認定手続きについて**
- 5 事務処理における留意事項について**

1 公務災害補償制度について

(1) 制度の目的

公務災害補償制度は、地方公務員が公務上の災害または通勤による災害を受けた場合に、その災害によって生じた損害を補償し、必要な福祉事業を行うことにより、地方公務員及びその遺族の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的とする制度。

※ここでいう災害とは、被災した地方公務員の負傷、疾病、障害または死亡という身体的な災害をいいます。物質的な損害は補償の対象とならない。

(2) 制度の特徴

請求主義である(請求があってはじめて補償を行う)。補償を受ける権利は2年間。

原則として、治療費の全額が基金から支払われる。

一定の障害が残った場合も、障害の程度に応じた補償を受けることができる。

2 通勤災害の認定について

通勤災害とは？

- 勤務のため、住居と勤務場所の間を、合理的な経路及び方法により、往復することによる災害のこと。

したがって

往復の経路を逸脱し、又は中断した場合は、その逸脱又は中断の間及びその後の移動中の災害は通勤災害とは認められない。

※ただし、逸脱又は中断が、日常生活上に必要な行為であって、やむを得ない事由による最小限度のものである場合には、当該逸脱・中断の間に生じた災害を除き、通勤災害とされる。

やむを得ない 事由とは？

日常生活の必要から通勤途中で行う合理的な事由

例) 日用品の購入、病院等への通院 等

3 公務災害認定事例について

事例1 （9時30分ごろ（2校時） ・ 体育館）

マット運動の授業中、側転を演示していたところ、右足の後ろ側から「バン」という音とともに痛みを感じた。座り込んで回復を待ったが、痛みが引かないため、病院を受診したところ、「アキレス腱断裂」により3ヶ月の加療が必要と診断された。

事例2 （4時25分ごろ ・ 校舎の階段）

卒業式に使用する飾りの入った段ボールを両手に抱え、3階の教室から1階の職員室へ戻ろうと階段を下りていた際、足を踏みはずし転落した。右足が大きく腫れ上がり、強い痛みを感じたため、病院を受診したところ「右足関節靭帯損傷」により、3週間の安静加療が必要と診断された。

事例3 （17時50分ごろ ・ 体育館）

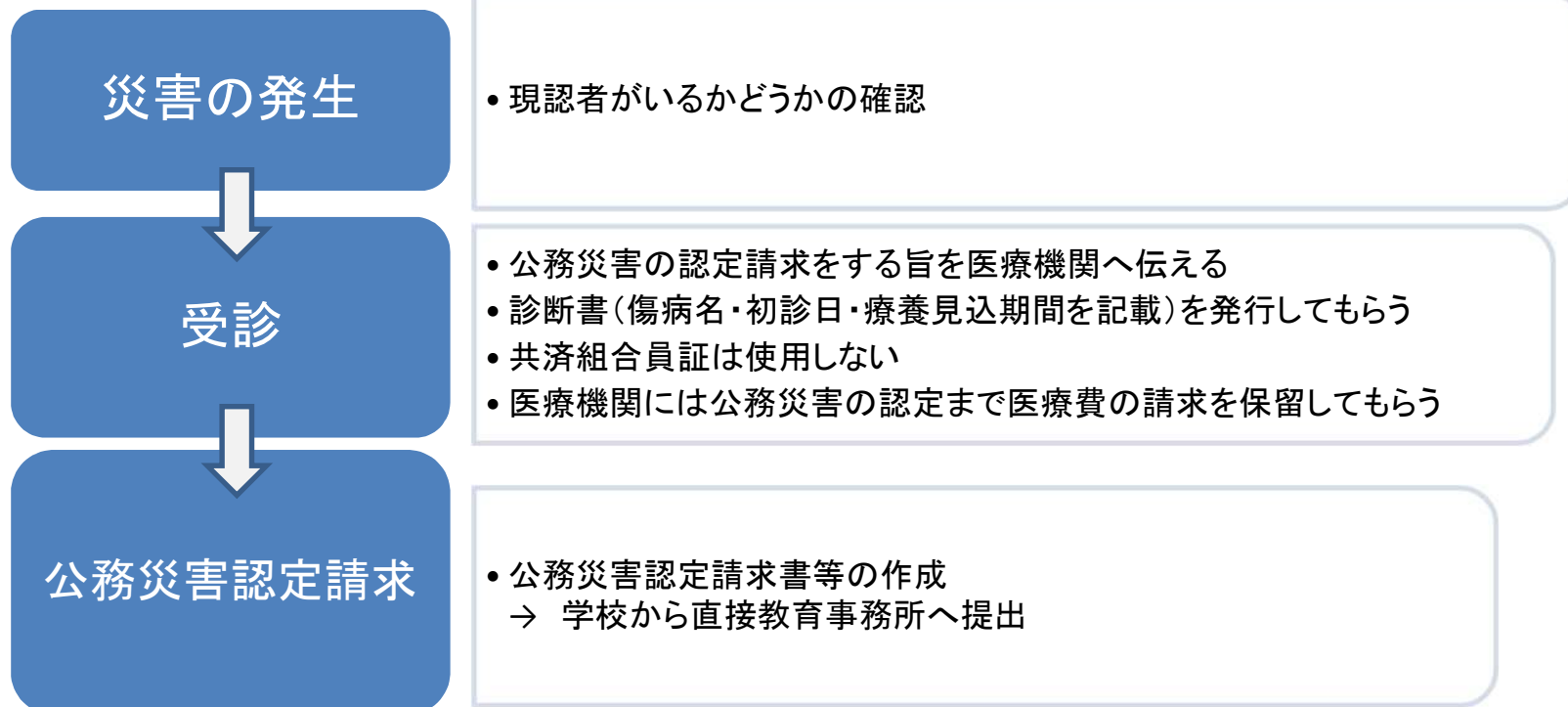
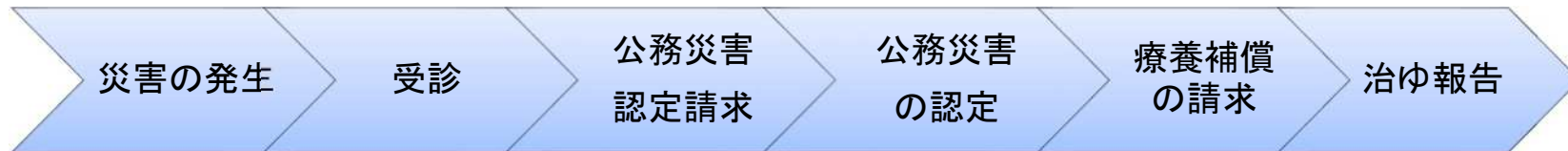
バスケットボール部の指導中、試合形式の練習に加わりドリブルをしていたところ、ディフェンスをしていた生徒の足を踏み、左足首をひねった。地面に足がつかないほどの痛みがあったため、養護教諭に相談の上、病院を受診したところ、「左足関節捻挫」により1ヶ月の加療が必要と診断された。

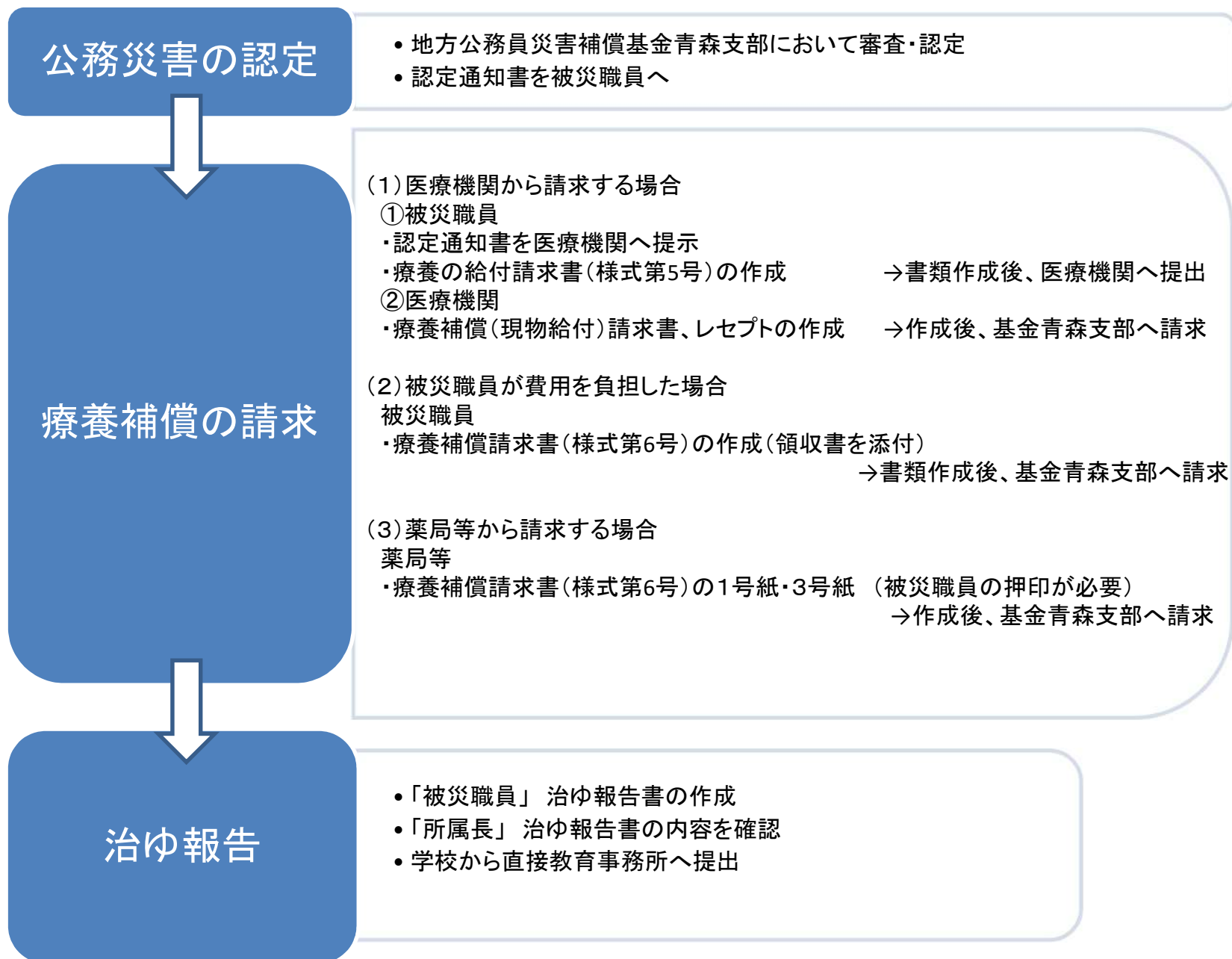
事例4 （7時10分ごろ ・ 駅）

通勤時、電車に乗るため〇〇駅のホームへ続く坂を下っていたところ、滑って仰向けに転倒し、左手を負傷した。怪我をした旨、電話で学校に伝えたところ病院へ直行するよう指示があったことから、病院を受診したところ、「左前腕骨遠位端骨折」により2ヶ月の加療が必要と診断された。

4 公務災害の認定手続きについて

以下の流れで手続きを進めていきます





5 事務処理における留意事項について

1 被害後、概ね1週間を目途に関係書類を整備のうえ、認定請求書を提出する。

2 「添付書類一覧表」や「認定請求チェックシート」により、添付資料や記載内容の確認を徹底する。

3 傷病が治癒した場合、速やかに「治癒報告書」を提出する。